

三角屋根コンクリートブロック住宅の 持続可能住居について

平成 23 年度～平成 24 年度
日本建築学会北海道支部特定課題研究
研究成果報告書

平成 25 年 3 月

三角屋根コンクリートブロック住宅の
持続可能住居研究委員会

【はじめに】

これは、平成23年度から平成24年度までの2年間にわたっておこなった「三角屋根コンクリートブロック住宅の持続可能住居について」の報告書である。

北海道の住宅の変遷をみると、「三角屋根コンクリートブロック住宅」は北海道の代表的な住宅として生み出され、「北海道の民家」と言及されるなど北海道の住文化を築いてきた住宅である。その「三角屋根コンクリートブロック造住宅」の住宅史的資料を残す上でも開発経緯などを把握しておくことは急遽性が要され、かつ、住宅改修等が当然考慮される現在、ストックとしても現存し現代史的にも秀逸な「三角屋根コンクリートブロック造住宅」から新たな住空間の可能性を見いだす意義は大きいと考え、開発経緯の調査、住み続けている調査を行った。それらから、「三角屋根コンクリートブロック造住宅」は北海道庁や関係機関によって道民の居住環境の改善を目的に、様々な努力により成立されていたことが明らかとなった。また、今なお居住している方々も増改築などを施しながら工夫し、住みこなしていることが明らかとなった。今後は、どのように住環境を良くしていくかなど、具体的な方法論を示すことが重要であると思われる。

平成25年3月31日

【研究委員会名：三角屋根コンクリートブロック住宅の持続可能住居研究委員会】

役職	氏名	所属
主査（平成23年度）	鈴木 大隆	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所
主査（平成24年度）	谷口 尚弘	北海道工業大学建築学科
委員	真境名 達哉	室蘭工業大学建築社会基盤系学科
委員	長谷川 雅浩	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所
委員	山崎 正弘	(株)ハウ計画設計
委員	鎌田 清子	北海道文教大学外国語学部
委員	片山 めぐみ	札幌市立大学デザイン学科
委員	照井 康德	照井康德建築設計事務所
委員	中館 誠治	Nd studio
委員	中渡 憲彦	新潟職業能力短期開発大学校
委員	湯川 崇	札幌市立大学（非常勤）
委員	有馬 昌希	室蘭工業大学大学院修士課程

【助成額】

(千円)

	合計
平成23年度	90
平成24年度	90
総計	180

【 目 次 】

第1章 研究の背景・目的と方法	1
1-1.研究の背景	3
1-2.研究目的と研究フロー	4
1-3.三角屋根コンクリートブロック造住宅とは	5
1-4.三角屋根コンクリートブロック造住宅に関する既往研究	6
第2章 住宅政策及びの住宅開発の変遷	7
2-1.本章の目的と方法	9
2-2.日本における住宅に関わる法および計画等の変遷	9
2-3.住宅金融公庫の変遷	12
1)住宅金融公庫の設立背景	
2)住宅金融公庫における分譲住宅建設融資貸付制度の制定背景と経緯	
3)住宅金融公庫住宅建設基準について	
2-4.北海道の住宅に関わる法および計画等の変遷	15
2-5.ブロック建築開発の歴史	21
2-6.北海道における三角屋根コンクリートブロック造住宅開発の変遷	25
1)北海道庁における戦後の住宅対策（研究および啓蒙内容）	
2)北海道立ブロック建築指導所の設立背景と展開	
3)三角屋根コンクリートブロック住宅開発および研究の動向	
4)技術講習会における三角屋根コンクリートブロック造住宅普及の変遷	
2-7.札幌市・江別市・北広島市・石狩市の都市形成の変遷	39
2-8.まとめ	48
第3章 三角屋根コンクリートブロック造住宅団地の開発経緯	53
3-1.本章の目的と方法	55
3-2.三角屋根コンクリートブロック造住宅の建設団地と戸数	57
3-3.各三角屋根コンクリートブロック造住宅団地と都市拡大過程	62
1)団地開発と都市拡大について	
2)各団地の開発経緯と展開	
3)「015.真駒内団地」の開発経緯（所有地保有による団地開発）	
4)「007.下藤野団地」および「018.藤の沢団地」の開発経緯（他企業による団地開発の影響）	
5)北方面・石狩市における開発経緯（市電の延長計画と工業団地建設にともなう連動）	
6)札幌東部における開発経緯（札幌市の副都心開発との連動）	
3-4.三角屋根コンクリートブロック造住宅の現存状況	93
1) 団地別三角屋根コンクリートブロック造住宅の現存状況	
2) 建設年度別三角屋根コンクリートブロック造住宅の現存状況	
3-5.本章のまとめ	100

補章. 各三角屋根コンクリートブロック造住宅団地における団地の現活動	101
第4章 三角屋根コンクリートブロック造住宅の空間タイプの変遷と現存状況	105
4-1.本章の目的と方法	107
4-2.三角屋根コンクリートブロック造住宅の住宅タイプの建設状況と変遷過程	109
1)昭和37年度から昭和40年度に建設された住宅タイプの分析	
2)昭和41年度から昭和59年度に建設された住宅タイプの分析	
4-3.三角屋根コンクリートブロック造住宅の住宅タイプ別現存状況	133
4-4.主要タイプにおける現存状況	137
4-5 本章のまとめ	139
第5章 三角屋根コンクリートブロック造住宅の持続居住性	
－元町団地におけるケーススタディー	141
5-1.本章の目的と方法	143
5-2.三角屋根コンクリートブロック造住宅の建設状況と現存状況	145
5-3.元町団地における居住環境（住み続けられる可能性）	151
5-4.本章のまとめ	167
第6章 まとめ	169
6-1.住宅政策及びの住宅開発の変遷について	171
6-2.三角屋根コンクリートブロック造住宅団地の開発経緯について	171
6-3.三角屋根コンクリートブロック造住宅の空間タイプの現状と現存状況について	172
6-4.三角屋根コンクリートブロック造住宅の持続居住性について	172
6-4.今後の研究課題	173
付 録	i